

サイボウズ ガルーン バージョンアップチェックリスト

第 1 版

サイボウズ株式会社

目次

目次 1

はじめに	3
ガルーン 3.5 ヘバージョンアップする際の確認事項一覧.....	5
バージョンアップ前の確認事項	5
MySQL のクエリを実行して判定できる確認事項	6
バージョンアップ後に行う作業	7
ガルーン 3.5 バージョンアップ前の確認事項.....	8
1. Microsoft TCP/IP version 6 を利用している(Windows 版のみ)	8
2. MySQL をドライブレター直下にインストールしている(Windows 版のみ).....	9
3. ガルーン 2.5.0 以降を利用して、common.ini の[BackupMode]ディレクティブに disable="1" の記載がない	11
4. 「lwc.ini」の項目「prop:_host」の値にポート番号が記載されていない	12
5. 一時的に作成されるダンプデータの保存先の空き容量が MySQL のデータ容量より少ない	14
6. 添付ファイル保存領域内にあるディレクトリが削除されている	15
7. 現在ガルーン 2.0.0 ~ ガルーン 2.5.0 を利用していて、「社内メール」の機能を利用している 16	
8. 現在ガルーン 2.1.2 以降を利用して、ワークフローを再初期化したことがある.....	18
9. 現在ガルーン 3.1.0 ~ 3.1.2 を利用していて、ワークフローを再初期化したことがある	20
10. 現在ガルーン 3.0.2 ~ 3.1.2 を利用していて、マルチレポートを再初期化したことがある	22
11. ガルーン 2.1.3 からガルーン 3.0.0 にバージョンアップし、さらにガルーン 3.1.x にバージョ ンアップしている.....	24
12. ロギングのテーブルが破損している.....	28
13. DB 分割版で添付ファイル保存ディレクトリを mysql-5.0 以下に配置している.....	30
ガルーン 3.5 バージョンアップ後に行う作業.....	33
1. repair.bat を実行した場合の作業(Windows 版のみ)	33
2. ガルーン 2.5.4 以前から 3.0.x を経由して 3.5.0 へバージョンアップした場合の作業 (delete_messages_maintainer.csp の実行).....	34
3. ガルーン 3.0.1 以前から直接ガルーン 3.5.0 へバージョンアップした場合の作業 (grn_mail_delete_old_preview_file.csp の実行).....	35

4. Office からガルーン 3.1.x にコンバートし、ガルーン 3.5.0 へバージョンアップした場合の作業(recovery.csp の実行).....	36
5. DB 分割版でガルーン 3.1.3 以前から 3.5.0 へバージョンアップした場合の作業.....	37
6. 時刻の設定を行う	39
ガルーン 3.7 へバージョンアップする際の確認事項一覧.....	40
ガルーン 3.7 バージョンアップ前の確認事項.....	41
1. InnoDB ログファイルのサイズ (innodb_log_file_size) を初期値の 10MB から変更している ..	41
2. バージョンアップ作業前にガルーンの設定ファイルを排他的にロックしているサービス・アプリケーションを停止していない	44
3. コマンドを使用してガルーンをバックアップモードにしている	45
4. バージョンアップ前に「php.ini」の extension = gd.so の部分を変更していない (DB 分割構成のみ)	46
5. ガルーン 3.5 バージョンアップチェックリスト内の『ガルーン 3.5 バージョンアップ後に行う作業』を確認していない	47
ガルーン 3.7 バージョンアップ中の確認事項.....	48
1. MySQL のバージョンアップ中に「! failed running mysql_upgrade command.」とコンソールに出力される (DB 分割構成のみ)	48
付録 50	
MySQL クエリの実行方法.....	50
delete_messages_maintainer.csp の実行	51
grn_mail_delete_old_preview_file.csp の実行	53

はじめに

本書は「サイボウズ ガルーン バージョン 4.0」(以下、ガルーン 4.0)へバージョンアップを行う際に確認する項目について説明します。対象となるのは以下の場合です。

- ・「サイボウズ ガルーン バージョン 3.5」(以下、ガルーン 3.5)以前のバージョン
- ・「サイボウズ ガルーン バージョン 3.7」(以下、ガルーン 3.7)以前のバージョン

注意事項

1. MySQL のクエリの実行について

本書ではバージョンアップ前の確認事項に該当するかどうかを判定するために MySQL のクエリを実行する手順を案内しています。

MySQL のクエリの実行で誤った操作を行うと、データの内容が不正になってしまう場合があります。クエリの実行の際は下記の事項を必ず守るようにしてください。

- ・ **作業を行う前に MySQL のデータ領域と添付ファイル領域のバックアップを取得してください**
- ・ **作業を行う際は、Web サーバーを停止するなど、ガルーンのデータベースにアクセスがないようにしてください**
- ・ **作業を行う際は、スケジューリングサービスを停止してください**

2. ガルーン 4.0 へバージョンアップを行う際に確認する項目について

ガルーン 3.5 へバージョンアップを行う場合は、『ガルーン 3.5 へバージョンアップする際の確認事項一覧』をご覧ください。

ガルーン 3.7 へバージョンアップを行う場合はガルーン 3.5 を経由してバージョンアップする必要があります。

そのため、『ガルーン 3.5 へバージョンアップする際の確認事項一覧』と『ガルーン 3.7 へバージョンアップする際の確認事項一覧』をご覧ください。

3. 仕様変更等の情報について

本書は、特にバージョンアップ作業を行う際に確認すべき点について記載します。

バージョンアップに伴う仕様の変更などの情報につきましては下記のオンライン FAQ、アップデート履歴を参照するようにしてください。

ガルーン 3.5

▼アップデート履歴:3.5.0 における改修内容

<http://products.cybozu.co.jp/garoon/download/update/gr3/fix350.html>

ガルーン 3.7

▼よくある質問と答え ガルーン 3:ガルーン 3.7 へのバージョンアップ時の注意事項を教えてください。

<http://faq.cybozu.info/alphascope/cybozu/web/garoon3/Detail.aspx?id=1200>

▼アップデート履歴:3.7.0 における改修内容

<http://products.cybozu.co.jp/garoon/download/update/gr3/fix370.html>

4. 本書で記載する MySQL のインストールディレクトリについて

ガルーン 2.1.3 以前とガルーン 2.5.0 以降で MySQL のインストールディレクトリが異なるので注意してください。

MySQL のインストールディレクトリ

ガルーン 2.1.3 以前

- Windows

C:¥Program Files¥Cybozu¥**mysql-4.1**

- Linux

/usr/local/cybozu/**mysql-4.1**

ガルーン 2.5.0 以降

- Windows

C:¥Program Files¥Cybozu¥**mysql-5.0**

- Linux

/usr/local/cybozu/**mysql-5.0**

5. ガルーン 2.5.4 以前のバージョンからのバージョンアップ経路について

ガルーン 2.5.4 以前からバージョンアップする際は、ガルーン 2.5.4 を経由してガルーン 3.5.0 へバージョンアップする必要があります。

ガルーン 2.5.4 にバージョンアップ後、本書に記載の各項目を確認し、その後のバージョンアップ作業を実施してください。

※バージョンアップ例

ガルーン 2.1.3 → ガルーン 2.5.4 → ガルーン 3.5.0 → ガルーン 3.7.0 → ガルーン 4.0.0

ガルーン 3.5 へバージョンアップする際の確認事項一覧

ガルーン 3.1.3 以前のバージョンからガルーン 3.5 へバージョンアップする際に、下記の確認事項に該当する場合は、後に記載する対応方法を行うようにしてください。

現在ガルーン 3.5.x をご利用中の場合は[ガルーン 3.7 へバージョンアップする際の確認事項一覧](#)に進んでください。

バージョンアップ前の確認事項

以下の事項については、**バージョンアップ前に該当する項目がないか必ず確認を行ってください。**

該当する項目がある場合は回避方法に記載された対処を行ってバージョンアップを行ってください。

1. Microsoft TCP/IP version 6 を利用している(Windows 版のみ)
2. MySQL をドライブレター直下にインストールしている(Windows 版のみ)
3. ガルーン 2.5.0 以降を利用して、common.ini の[BackupMode]ディレクティブに disable="1" の記載がない
4. 「lwc.ini」の項目「prop:_host」の値にポート番号が記載されていない
5. 一時的に作成されるダンプデータの保存先の空き容量が MySQL のデータ容量より少ない
6. 添付ファイル保存領域内にあるディレクトリが削除されている
7. 現在ガルーン 2.0.0 ~ ガルーン 2.5.0 を利用していて、「社内メール」の機能を利用している
8. 現在ガルーン 2.1.2 以降を利用して、ワークフローを再初期化したことがある
9. 現在ガルーン 3.1.0 ~ 3.1.2 を利用していて、ワークフローを再初期化したことがある
10. 現在ガルーン 3.0.2 ~ 3.1.2 を利用していて、マルチレポートを再初期化したことがある
11. ガルーン 2.1.3 からガルーン 3.0.0 にバージョンアップし、さらにガルーン 3.1.x にバージョンアップしている
12. ロギングのテーブルが破損している
13. DB 分割版で添付ファイル保存ディレクトリを mysql-5.0 以下に配置している

補足

確認事項 7 から確認事項 12 は MySQL のクエリを実行することで、各確認事項に該当するかどうか判定することが可能です。詳細は次頁の「MySQL のクエリを実行して判定できる確認事項」の内容を参照してください。

MySQL のクエリを実行して判定できる確認事項

バージョンアップ前の確認事項 7 から 12 は MySQL のクエリ実行結果から確認項目に該当するかどうかを判定することが可能です。

それぞれの確認項目について「バージョンアップ前の確認事項」の章で記載されているいずれかの方法で、確認項目に該当するかどうかを確かめてください。

- 「条件」の節に記載された内容
- 「項目に該当することを確認するためのクエリ」の節に記載されたクエリの実行

現在利用しているガルーンのバージョンごとに確認すべき確認項目が異なります。下記の対応表を参考にバージョンアップ前の確認を行ってください。

現在利用しているガルーンのバージョンと各確認事項の対応表

以下の対応表の各ガルーンのバージョンについて、○が記載された確認事項は確認する必要があるものとなります。

※”-”が記載されているものは確認する必要がありません

ガルーン 2	2.0.x	2.1.0	2.1.1	2.1.2	2.1.3	2.5.0	2.5.1	2.5.2	2.5.3	2.5.4
No.7	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-
No.8	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○
No.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

ガルーン 3	3.0.0	3.0.1	3.0.2	3.0.3	3.1.0	3.1.1	3.1.2	3.1.3
No.7	-	-	-	-	-	-	-	-
No.8	○	○	○	○	○	○	○	○
No.9	-	-	-	-	○	○	○	-
No.10	-	-	○	○	○	○	○	-
No.11	-	-	-	-	○	○	○	○
No.12	○	○	○	○	○	○	○	○

例)

現在ガルーン 2.1.3 を利用している場合 : 確認事項 7・8・12 を確認してください

現在ガルーン 3.0.3 を利用している場合 : 確認事項 8・10・12 を確認してください

バージョンアップ後に行う作業

以下の項目はガルーン 3.5.0 へバージョンアップを行った後に必要な作業です。該当する各作業を行ってください。

注意

ガルーン 3.7.0 へバージョンアップする場合もすべての項目を確認の上、該当する項目がある場合は必要な作業を行ってください。

1. `repair.bat` を実行した場合の作業(Windows 版のみ)
2. ガルーン 2.5.4 以前から 3.0.xを経由して 3.5.0 へバージョンアップした場合の作業
(`delete_messages_maintainer.csp` の実行)
3. ガルーン 3.0.1 以前から直接ガルーン 3.5 へバージョンアップした場合の作業
(`grn_mail_delete_old_preview_file.csp` の実行)
4. Office からガルーン 3.1.x にコンバートし、ガルーン 3.5.0 へバージョンアップした場合の作業
(`recovery.csp` の実行)
5. 時刻の設定を行う

ガルーン 3.5 バージョンアップ前の確認事項

1. Microsoft TCP/IP version 6 を利用している (Windows 版のみ)

条件

次の条件をすべて満たすと、バージョンアップに失敗します。

- Windows Server 2003 もしくは Windows Server 2003 R2 を利用している
- Microsoft TCP/IP version 6 を利用している

下記の不具合に該当します。

▼不具合情報公開サイト:[Windows 版の現象]IPv6 の設定を有効にした状態でバージョン 3.5.0 へバージョンアップすると、バージョンアップに失敗する。

<https://support.cybozu.com/ja-jp/article/5684>

回避方法

「Microsoft TCP/IP version 6」の項目を選択し、「アンインストール」を行い、OS の再起動を行なってください。

補足

- Windows Server 2003、Windows Server 2003 R2 はガルーン 3.7 の動作環境ではありません。
- ガルーン 3.7 へバージョンアップを行う際はガルーン 3.7 の動作環境の OS 上でバージョンアップを行ってください。

2. MySQL をドライブレターの直下にインストールしている (Windows 版のみ)

条件

次の条件をすべて満たすと、バージョンアップに失敗します。

- Windows OS を利用している
- MySQL を C ドライブや D ドライブなどドライブレターの直下にインストールしている(例:C:\mysql-5.0)

下記の不具合に該当します。

▼不具合情報公開サイト:[Windows 版の現象]ドライブのルート直下に MySQL をインストールすると、バージョン 3.5.0 へのバージョンアップに失敗する。

<https://support.cybozu.com/ja-jp/article/6069>

回避方法

下記の手順で MySQL をドライブレター直下以外に再インストールを行った環境でバージョンアップを行ってください。

注意

下記の手順のバックアップはバージョンアップに失敗する前の正常なデータのバックアップを取得してください。

1. すべての Web サーバーを停止します
2. スケジューリングサービスを停止します
3. データベースエンジンを停止します
4. ガルーンの「MySQL のデータ領域(data)」および「添付ファイル領域(files)」をバックアップします

[対象フォルダの例]

C:\mysql-5.0\data

C:\mysql-5.0/files

5. ガルーンをアンインストールします
6. ガルーンを新規にインストールします

※「サイボウズアプリケーションディレクトリの設定」で「インストール先のフォルダ」にドライブレター直下以外を設定してください。

[設定例]

C:\Program Files\Cybozu

7. 手順 4. でバックアップした「data」および「files」を手順 6. で設定したフォルダ以下にリストアします

[リストア先の例]

C:¥Program Files¥Cybozu¥mysql-5.0¥data

C:¥Program Files¥Cybozu¥mysql-5.0¥files

8. リストアしたフォルダにアクセス権を設定します

「data」および「files」フォルダ以下のアクセス権に「Everyone」に対して「フルコントロール」を設定します

9. ガルーン 3.5.0 へバージョンアップします

3. ガルーン 2.5.0 以降を利用して、common.ini の [BackupMode]ディレクティブに disable="1" の記載がない

条件

次のいずれかの条件を満たすと、バージョンアップに失敗します。

- ガルーン 2.5.0 以降で common.ini の [BackupMode]ディレクティブに disable="1" の記載がない
- ガルーン 2.5.0 以降で common.ini の [BackupMode]ディレクティブで disable="1" がコメントアウトされている

※初期値でインストールした場合の common.ini のファイルパスは下記のとおりです

- Windows
C: ¥\inetpub¥scripts¥cbgrn¥common.ini
- Liunx
/var/www/cgi-bin/cbgrn/common.ini

回避方法

バージョンアップ前に common.ini の [BackupMode]ディレクティブに disable="1" を追記してください。

```
-----  
[BackupMode]  
disable = "1"      ←この行を追記してください  
driver = "garoon"  
-----
```

disable="1" がコメントアウトされている場合は、コメントアウトを外してください。

```
-----  
[BackupMode]  
;disable = "1"    ←この行のコメント「;」を外してください  
driver = "garoon"  
-----
```

4. 「lwc.ini」の項目「prop:_host」の値にポート番号が記載されていない

条件

次の条件を満たすと、バージョンアップに失敗します。

- lwc.ini の項目「prop:_host」の値にポート番号が記載されていない

※初期値でインストールした場合の lwc.ini のファイルパスは下記のとおりです

- Windows

C: ¥\netpub¥scripts¥cbgrn¥lwc.ini

- Liunx

/var/www/cgi-bin/cbgrn/lwc.ini

下記の不具合に該当します。

▼不具合情報公開サイト:lwc.ini にデータベースのポート番号が設定されていない場合、ガルーン 3.5.0 へのバージョンアップに失敗する。

<https://support.cybozu.com/ja-jp/article/5688>

回避方法

lwc.ini の項目「prop:_host」に MySQL へ接続するポート番号(※)を追記してください。

```
-----  
prop:_host = "val:localhost"  
-----  
↓  
-----  
prop:_host = "val:localhost:<ポート番号>"  
-----
```

[設定例]

```
prop:_host = "val:localhost:3770"
```

補足

- ポート番号について
MySQL の設定ファイル(my.ini)の[mysqld]ディレクティブに記載されている「port」の値を確認してください。
※初期値でインストールした場合の my.ini のファイルパスは下記のとおりです
ガルーン 2.5.0 以降の場合
/user/local/cybozu/mysql-5.0/etc/my.ini
ガルーン 2.1.3 以前の場合
/user/local/cybozu/mysql-4.1/etc/my.ini

my.ini ファイルを開き、[mysqld]の port に記述されたポート番号を確認します。

[client]

port = 3770

socket = /usr/local/cybozu/mysql-5.0/data/mysql.sock

default-character-set = utf8

[mysqld]

user = daemon

skip-name-resolve

port = 3770 ← MySQL への接続ポート番号

5. 一時的に作成されるダンプデータの保存先の空き容量が MySQL のデータ容量より少ない

条件

次の条件を満たすと、バージョンアップに失敗します。

- 一時的に作成されるダンプデータの保存先の空き容量が MySQL のデータ容量(※1)より少ない

一時的に作成されるダンプデータの保存先は下記のとおりです。

- 単体構成の場合: CGI インストールディレクトリ(※2)
- DB 分割構成の場合: installer を配置するディレクトリ

※1 初期値でインストールした場合の MySQL のデータ領域は下記のとおりです

- Windows
C:¥Program Files¥Cybozu¥mysql-5.0¥data
- Linux
/usr/local/cybozu/mysql-5.0/data

※2 初期値でインストールした場合の CGI インストールディレクトリは下記のとおりです

- Windows
C:¥inetpub¥scripts¥cbgrn
- Linux
/var/www/cgi-bin/cbgrn

回避方法

一時的に作成されるダンプデータの保存先に MySQL のデータ容量以上の領域を確保して、バージョンアップをしてください。

6. 添付ファイル保存領域内にあるディレクトリが削除されている

条件

次の条件を満たすと、バージョンアップに失敗します。

なお、バージョンは問わず DB 分割版も対象です。

- 何らかの原因で添付ファイル保存領域内にあるディレクトリが削除されている場合

例:Linux の場合

(インストールディレクトリ)/mysql-5.0/files/cbgrn/memo/grn_memo_filebody/0/0/ が削除されて

(インストールディレクトリ)/mysql-5.0/files/cbgrn/memo/grn_memo_filebody/0/ になっている

考えられる原因:バックアップやリストアの失敗によるデータの不整合

コマンドライン操作による添付ファイル保存領域の直接削除など

下記の不具合に該当します。

- ▼アプリケーションに添付した画像ファイルがサーバー上から削除されると、エラーが発生しガルーン 3.5.0 へのバージョンアップに失敗する場合があります。

<https://support.cybozu.com/ja-jp/article/8296>

条件を満たしているかどうかの確認方法

上記不具合記事の【回避方法】欄に各バージョン向けのツールを案内しています。

ツールに付属している readme.txt を参照してツールを実行してください。

バージョンと実行するツールは以下の通りです。

バージョン	実行するツール
2.1.3 , 2.5.0~2.5.3	※2.5.4 へバージョンアップ後 2.5.4 対応ツール
2.5.4	2.5.4 対応ツール
3.0.X	3.0.X 対応ツール
3.1.X	3.1.X 対応ツール

※2.5.3 以前のバージョンに対応するツールはありません。

そのため、2.5.4 にバージョンアップしてから 2.5.4 対応のツールを実行してください。

回避方法

条件の確認に使用した上記のツールを使用して一時ファイルを作成してからバージョンアップを行ってください。

7. 現在ガルーン 2.0.0 ~ ガルーン 2.5.0 を利用していて、「社内メール」の機能を利用している

条件

下記の不具合が発生している場合、バージョンアップに失敗します。

- 社内メールの宛先から同時に複数のユーザーを削除し、社内メールを削除すると、削除されたユーザーが削除後もその社内メールを閲覧できる場合がある
▼不具合情報公開サイト: No: 001-003319
<https://support.cybozu.com/ja-jp/article/3319>
- 社内メールの宛先から同時に複数のユーザーを削除し、宛先に再追加すると、削除されたユーザーが削除後もその社内メールを閲覧できる場合がある
▼不具合情報公開サイト: No: 001-003320
<https://support.cybozu.com/ja-jp/article/3320>

項目に該当することを確認するクエリ

下記の条件に該当する場合は、この項目に該当する可能性があります。

- ガルーン 2.0.x, 2.1.x, 2.5.0 を利用している
※既にガルーン 2.5.1 以降にバージョンアップしている場合はこの項目に該当しません
- 社内メールを利用している

この項目に該当するかどうかを確認する場合は以下のクエリを実行して、実行結果を確認してください。

クエリを実行するガルーンのバージョン

ガルーン 2.0.x, 2.1.x, 2.5.0

※上記のバージョン以外ではクエリを実行しないでください

実行するクエリ

下記のクエリを「付録. MySQL クエリの実行方法 手順 4.以下のコマンドを実行する」に記載されているコマンドの [実行するクエリ]部分に挿入してコマンドを実行してください

```
SELECT count(mf._id) FROM tab_grn_message_addressees ma INNER JOIN  
tab_grn_message_foldermessagerelations mf ON ma.col_message=mf.col_message AND  
ma.col_addressee=mf.col_user WHERE ma.col_dtime>0 AND mf.col_snapshot_message IS NULL;
```

※上記の 3 行で一つのクエリになります

クエリの実行結果

・項目に該当しない場合の例(Windows の場合)

```
+-----+
| count (mf. _id) |
+-----+
|           0     |
+-----+
1 row in set (0.03 sec)
```

⇒ **count(mf._id)が 0 件の場合はこの項目に該当しません。次の確認項目に進んでください。**

・項目に該当する場合の例

```
+-----+
| count (mf. _id) |
+-----+
|           1     |
+-----+
1 row in set (0.03 sec)
```

⇒ **count(mf._id)が 1 件以上の場合はこの項目に該当します。この項目に該当する場合は下記の回避方法を実行してください。**

回避方法

下記のバージョンアップ経路でバージョンアップを行ってください。

<ガルーン 2.5.0 の場合>

ガルーン 2.5.4 を経由してガルーン 3.5.0 へバージョンアップしてください(※1)

<ガルーン 2.0.x, 2.1.x 以前の場合>

1. ガルーン 2.0.0 ~ 2.1.2 の場合、ガルーン 2.1.3 へバージョンアップする
2. ガルーン 2.1.3 から「バージョンアッププログラム 1.0.4(※2)」を使用し、ガルーン 2.5.4 へバージョンアップする
3. ガルーン 2.5.4 からガルーン 3.5.0 へとバージョンアップする

※1 ガルーン 2.5.4 Windows/Linux 版プログラムは以下のリンクからダウンロードします

Windows 版 (32bit)<https://cypn.cybozu.com/g/cabinet/view.csp?hid=34&fid=795>

Windows 版 (64bit)<https://cypn.cybozu.com/g/cabinet/view.csp?hid=34&fid=796>

Linux 版 (32bit)<https://cypn.cybozu.com/g/cabinet/view.csp?hid=35&fid=797>

Linux 版 (64bit)<https://cypn.cybozu.com/g/cabinet/view.csp?hid=35&fid=798>

※2 バージョンアッププログラム 1.0.4 Windows/Linux 版プログラム・マニュアルは以下のリンクからダウンロードします

Windows 版 <https://cypn.cybozu.com/g/cabinet/view.csp?hid=141&fid=404>

Linux 版 <https://cypn.cybozu.com/g/cabinet/view.csp?hid=141&fid=405>

8. 現在ガルーン 2.1.2 以降を利用して、ワークフローを再初期化したことがある

条件

次の条件をすべて満たすと、バージョンアップに失敗します。

ガルーン 2.5.0 以降の場合:

- ガルーン 2.1.1 以前のガルーンからバージョンアップしている
- ワークフローを再初期化している

ガルーン 2.1.3 以前の場合:

ガルーン導入時に Firefox で「ガルーン システムの初期化」を行っている

- ガルーン 2.1.1 以前のガルーンからバージョンアップしている
- Firefox でワークフローの再初期化している

下記の不具合に該当します。

- ▼不具合情報公開サイト:ワークフローを再初期化して経路を追加すると、エラーが発生し経路を追加できない場合がある。(事前にログインが必要です)

<https://support.cybozu.com/ja-jp/article/4497>

項目に該当することを確認するクエリ

クエリを実行するガルーンのバージョン

ガルーン 2.1.2 以降

※上記のバージョン以外ではクエリを実行しないでください

実行するクエリ

下記のクエリを「付録. MySQL クエリの実行方法 手順 4.以下のコマンドを実行する」に記載されているコマンドの [実行するクエリ]部分に挿入してコマンドを実行してください。

※2 つのクエリを実行します。

クエリ 1

```
DESCRIBE tab_grn_workflow_pathstep col_deny_change_path;
```

クエリ 2

```
DESCRIBE tab_grn_workflow_pathstepdata col_deny_change_path;
```

クエリの実行結果

・項目に該当しない場合の例

・ tab_grn_workflow_pathstep

Field	Type	Null	Key	Default	Extra
col_deny_change_path	int(11)	YES		NULL	

・ tab_grn_workflow_pathstepdata

Field	Type	Null	Key	Default	Extra
col_deny_change_path	int(11)	YES		NULL	

⇒ テーブルのカラムの情報が 1 件ずつ表示された場合、この項目には該当しません。次の確認項目に進んでください。

・項目に該当する場合の例

コマンドを実行しても結果が返ってきません

⇒ テーブルのカラムが存在せず情報が表示されない場合、この項目に該当します。下記の回避方法を実行してください。

回避方法

MySQL にログインしてクエリを実行ください

詳細は上記の下記の不具合情報公開サイトにある修正プログラムに記載されている対応方法を行ってください。

▼不具合情報公開サイト: ワークフローを再初期化して経路を追加すると、エラーが発生し経路を追加できない場合がある。(事前にログインが必要です)

<https://support.cybozu.com/ja-jp/article/4497>

対応が完了したら次の項目の確認に進んでください。

9. 現在ガルーン 3.1.0 ~ 3.1.2 を利用していて、ワークフローを再初期化したことがある

条件

次の条件をすべて満たすと、バージョンアップに失敗します。

- ガルーン 3.0.3 以前のバージョンからバージョンアップを行っている
- ガルーン 3.1.0 ~ 3.1.2 でワークフローの再初期化を行っている

下記の不具合に該当します。

▼不具合情報公開サイト:バージョン 3.1.0 から 3.1.2 のガルーンでワークフローを再初期化していると、3.5.0 へのバージョンアップに失敗する場合があります。

<https://support.cybozu.com/ja-jp/article/5954>

項目に該当することを確認するクエリ

クエリを実行するガルーンのバージョン

ガルーン 3.1.0, 3.1.1, 3.1.2

※上記のバージョン以外ではクエリを実行しないでください

実行するクエリ

下記のクエリを「付録. MySQL クエリの実行方法 手順 4.以下のコマンドを実行する」に記載されているコマンドの [実行するクエリ]部分に挿入してコマンドを実行してください。

※2 つのクエリを実行します。

クエリ 1

```
DESCRIBE tab_grn_workflow_form col_export_top_line;
```

クエリ 2

```
DESCRIBE tab_grn_workflow_form col_login_name_export;
```

クエリの実行結果

・項目に該当しない場合の例

・クエリ 1

Field	Type	Null	Key	Default	Extra
col_export_top_line	int(11)	YES		0	

・クエリ 2

Field	Type	Null	Key	Default	Extra
col_login_name_export	int(11)	YES		0	

⇒ テーブルのカラムの情報が 1 件ずつ表示された場合、この項目には該当しません。次の確認項目に進んでください。

・項目に該当する場合の例

コマンドを実行しても結果が返ってきません。

⇒ テーブルのカラムの情報が表示されない場合、この項目には該当します。下記の回避方法を実行してください。

回避方法

下記のバージョンアップ経路でバージョンアップを行ってください。

1. ガルーン 3.1.3 へバージョンアップする
2. ガルーン 3.1.3 からガルーン 3.5.0 へとバージョンアップする

10. 現在ガルーン 3.0.2 ~ 3.1.2 を利用していて、マルチレポートを再初期化したことがある

条件

次のすべて条件を満たすと、バージョンアップに失敗します。

- ガルーン 2.5.4 以前のバージョンからバージョンアップを行っている
- ガルーン 3.0.2 ~ 3.1.2 でマルチレポートの再初期化を行っている

下記の不具合に該当します。

- ▼不具合情報公開サイト: マルチレポートを再初期化すると、バージョン 3.5.0 へのバージョンアップに失敗する場合があります。

<https://support.cybozu.com/ja-jp/article/5950>

項目に該当することを確認するクエリ

クエリを実行するガルーンのバージョン

ガルーン 3.0.2 ,3.0.3,3.1.0, 3.1.1, 3.1.2

※上記のバージョン以外ではクエリを実行しないでください

実行するクエリ

下記のクエリを「付録. MySQL クエリの実行方法 手順 4.以下のコマンドを実行する」に記載されているコマンドの [実行するクエリ]部分に挿入してコマンドを実行してください。

```
DESCRIBE tab_grn_report_filter col_formtype;
```

クエリの実行結果

・項目に該当しない場合の例

Field	Type	Null	Key	Default	Extra
col_formtype	int(11)	NO		NULL	

⇒ テーブルのカラムの情報が 1 件表示された場合、この項目には該当しません。次の確認項目に進んでください。

・項目に該当する場合の例

コマンドを実行しても結果が返ってきません。

⇒ テーブルのカラムの情報が表示されない場合、この項目には該当します。下記の回避方法を実行してください。

回避方法

下記のバージョンアップ経路でバージョンアップを行ってください。

1. ガルーン 3.1.0 へバージョンアップする
2. ガルーン 3.1.3 へバージョンアップする
3. ガルーン 3.1.3 からガルーン 3.5.0 へとバージョンアップする

補足

ガルーン 3.0.x を利用している場合は、ガルーン 3.1.3 にバージョンアップする前にガルーン 3.1.0 を経由する必要があります。

11. ガルーン 2.1.3 からガルーン 3.0.0 にバージョンアップし、さらにガルーン 3.1.x にバージョンアップしている

条件

次の条件を満たすと、バージョンアップに失敗します。

- ガルーン 2.1.3 からガルーン 3.0.x へバージョンアップしたことがある
- ガルーン 3.0.x からガルーン 3.1.x へバージョンアップしている

下記の不具合に該当します。

▼不具合情報公開サイト:ガルーン 2.1.3、3.0.X、3.1.X の順にバージョンアップすると、ガルーン 3.5.0 へのバージョンアップに失敗する。

<https://support.cybozu.com/ja-jp/article/6533>

項目に該当することを確認するクエリ

クエリを実行するガルーンのバージョン

ガルーン 3.1.x

※ 上記のバージョン以外ではクエリを実行しないでください

実行するクエリ

下記のクエリを「付録. MySQL クエリの実行方法 手順 4.以下のコマンドを実行する」に記載されているコマンドの [実行するクエリ]部分に挿入してコマンドを実行してください

※5 種類のクエリを実行します。

クエリ 1

```
DESCRIBE tab_grn_star__pXX col_updater;
```

クエリ 2

```
DESCRIBE tab_grn_star__pXX col_updater_name;
```

※ 「XX」の部分には 0 から 49 の値を入れて、計 50 回ずつクエリを実行します。

クエリ 3

```
DESCRIBE tab_grn_address_privateitem col_cellular;
```

クエリ 4

```
DESCRIBE tab_grn_address_shareditem col_cellular;
```

クエリ 5

```
DESCRIBE tab_grn_facility_item col_cellular;
```

クエリの実行結果

・項目に該当しない場合の例

・クエリ 1

Field	Type	Null	Key	Default	Extra
col_updater	char(128)	YES		NULL	

・クエリ 2

Field	Type	Null	Key	Default	Extra
col_updater_name	char(128)	YES		NULL	

・クエリ 3

Field	Type	Null	Key	Default	Extra
col_cellular	int(11)	YES		NULL	

・クエリ 4

Field	Type	Null	Key	Default	Extra
col_cellular	int(11)	YES		NULL	

・クエリ 5

Field	Type	Null	Key	Default	Extra
col_cellular	int(11)	YES		NULL	

⇒ テーブルのカラムの情報が 1 件ずつ表示された場合、この項目には該当しません。次の確認項目に進んでください。

・項目に該当する場合の例

コマンドを実行しても結果が返ってきません。

⇒ テーブルのカラムの情報が表示されない場合、この項目には該当します。下記の回避方法を実行してください。

回避方法

ガルーン 3.5.0 へバージョンアップする前に、カラムを追加するクエリを実行します。

注意

下記の回避方法を実行する前には、必ずバックアップを取得してください。

1. すべての Web サーバーを停止します
2. スケジューリングサービスを停止します
3. 次のコマンドを実行します

※ 初期値でインストールした場合のコマンドの例は下記のとおりです

- Windows

```
"C:\Program Files\Cybozu\mysql-5.0\bin\mysql.exe" -u cbroot -p -h [ガルーンサーバーの IP アドレス] -P [データベースのポート番号] -A cb_[インストール識別子]
```

- Linux

```
/usr/local/cybozu/mysql-5.0/bin/mysql -u cbroot -p -h [ガルーンサーバーの IP アドレス] -P [データベースのポート番号] -A cb_[インストール識別子]
```

4. データベース管理ユーザー(cbroot)のパスワードを入力します
5. 次の SQL クエリを実行します

5.1. tab_grn_star__pXX に、col_updater と col_updater_name を追加するクエリ

実行するクエリ

```
ALTER TABLE `tab_grn_star__pXX`  
ADD COLUMN `col_updater` char (128) collate utf8_general_cs NULL,  
ADD COLUMN `col_updater_name` char (128) collate utf8_general_cs NULL;
```

補足

「XX」の部分には 0 から 49 の値を入れて、計 50 回クエリを実行します。

5.2. tab_grn_address_privateitem に col_cellular を追加するクエリ

実行するクエリ

```
ALTER TABLE tab_grn_address_privateitem  
ADD COLUMN `col_cellular` int(11) DEFAULT NULL;
```

5.3. tab_grn_address_shareditem に col_cellular を追加するクエリ

実行するクエリ

```
ALTER TABLE tab_grn_address_shareditem  
ADD COLUMN `col_cellular` int(11) DEFAULT NULL;
```

5.4. tab_grn_facility_item に col_cellular を追加するクエリ

実行するクエリ

```
ALTER TABLE tab_grn_facility_item  
ADD COLUMN `col_cellular` int(11) DEFAULT NULL;
```

補足

- コマンド実行の結果、次の内容が出力されれば問題ありません。

```
Query OK, 0 rows affected (0.01 sec)  
Records: 0 Duplicates: 0 Warnings: 0
```

- コマンド実行の結果、次のようなエラーが表示される場合は、必要なカラムがすでに存在しています。そのまま次の作業に進んでください。

```
ERROR 1060 (42S21): Duplicate column name 'col_updater'
```

6. スケジューリングサービスを起動します
7. すべての Web サーバーを起動します

12. ロギングのテーブルが破損している

条件

次の条件を満たすと、バージョンアップに失敗します。

- ロギングのテーブル(tab_cb_logevent)が破損している

項目に該当することを確認するためのクエリ

クエリを実行するガルーンのバージョン

すべてのバージョン

実行するクエリ

下記のクエリを「付録. MySQL クエリの実行方法 手順 4.以下のコマンドを実行する」に記載されているコマンドの [実行するクエリ]部分に挿入してコマンドを実行してください。

```
CHECK TABLE tab_cb_logevent;
```

クエリの実行結果

・項目に該当しない場合の例

Table	Op	Msg_type	Msg_text
cb_cbgrn.tab_cb_logevent	check	status	OK

⇒ Msg_text に OK と表示されれば、この項目には該当しません。次の確認項目に進んでください。

・項目に該当する場合の例

Table	Op	Msg_type	Msg_text
cb_cbgrn.tab_cb_logevent	check	warning	Table is marked as crashed
cb_cbgrn.tab_cb_logevent	check	error	Found ***** keys of *****
cb_cbgrn.tab_cb_logevent	check	error	Corrupt

⇒ 上記のように表示された場合、tab_cb_logevent が破損しています。下記の回避方法を実行してください。

回避方法

ガルーン 3.5.0 へバージョンアップする前に、ロギングのテーブルを修復するクエリを実行します。

注意

以下の回避方法を実行する前に、必ずバックアップを取得してください。

1. すべての Web サーバーを停止します
2. スケジューリングサービスを停止します
3. 次のコマンドを実行します

※ 初期値でインストールした場合のコマンドの例は下記のとおりです

- Windows

```
"C:\Program Files\Cybozu\mysql-5.0\bin\mysql.exe" -u cbroot -p -h [ガルーンサーバーの IP アドレス] -P [データベースのポート番号] -A cb_[インストール識別子]
```

- Linux

```
/usr/local/cybozu/mysql-5.0/bin/mysql -u cbroot -p -h [ガルーンサーバーの IP アドレス] -P [データベースのポート番号] -A cb_[インストール識別子]
```

4. データベース管理ユーザー(cbroot)のパスワードを入力します
5. 次の SQL クエリを実行します

5.1. tab_cb_logevent を修復するクエリ

実行するクエリ

```
REPAIR TABLE tab_cb_logevent;
```

5.2. tab_cb_logevent が修復されたか確認するクエリ

実行するクエリ

```
CHECK TABLE tab_cb_logevent;
```

```
+-----+-----+-----+-----+
| Table                | Op    | Msg_type | Msg_text |
+-----+-----+-----+-----+
| cb_cbgrn.tab_cb_logevent | check | status   | OK       |
+-----+-----+-----+-----+
```

⇒ 以上のように表示されれば、ロギングのテーブルを修復できています。

6. スケジューリングサービスを起動します
7. すべての Web サーバーを起動します

13. DB 分割版で添付ファイル保存ディレクトリを mysql-5.0 以下に配置している

条件

次の条件を満たすと、バージョンアップに失敗します。

- ガルーン 3.1.3 以前のガルーンを DB 分割構成で構築し、ガルーン 3.5.0 へバージョンアップする
- 添付ファイル保存ディレクトリを mysql-5.0 以下に配置している
- NFS クライアントで、NFS サーバーの添付ファイル保存ディレクトリをマウントした領域に、root 権限がない

下記の不具合に該当します。

▼DB 分割版で添付ファイル保存ディレクトリを mysql-5.0 以下に配置していると、3.5.0 へのバージョンアップに失敗する。

<https://support.cybozu.com/ja-jp/article/8032>

回避方法

バージョンアップを開始する前に添付ファイル保存ディレクトリを mysql-5.0 配下から移動することで現象を回避します。次の構成で DB 分割版を構築した場合の手順を記載します。構成が異なる場合には、読み替えて作業を実施してください。

構成:

サーバーA (NFS クライアント): アプリケーションサーバー

サーバーB (NFS クライアント): マスターデータベースサーバー

サーバーC (NFS サーバー) : スレーブデータベースサーバー

補足

すべてのアプリケーションの添付ファイルを一括してサーバーCに保存するものとします。

1. 次の順に各サービスを停止します

- 1.1 アプリケーションサーバー(サーバーA)で Web サーバーを停止します
- 1.2 アプリケーションサーバー(サーバーA)memcache を停止します
- 1.3 マスターデータベースサーバー(サーバーB)でスケジューリングサービスを停止します
- 1.4 スレーブデータベースサーバー(サーバーC)データベースエンジンを停止します
- 1.5 マスターデータベースサーバー(サーバーB)データベースエンジンを停止します

2. マウントしている添付ファイル保存ディレクトリをすべてアンマウントします

例:

```
-----  
umount -f /usr/local/cybozu/mysql-5.0/files  
-----
```

3. すべてのサーバーで、common.ini ファイルを編集します

例:

```
-----  
[Files]  
files_dir = "/usr/local/cybozu/files"  
-----
```

補足

common.ini はデフォルトでは次のディレクトリに存在します。

```
-----  
/usr/local/cybozu/[インストール識別子]/common.ini  
-----
```

4. すべてのサーバーで、添付ファイル保存ディレクトリを移動します

例:

```
-----  
mv /usr/local/cybozu/mysql-5.0/files /usr/local/cybozu/  
-----
```

補足

すべてのサーバーで、添付ファイル保存ディレクトリを手順 3 で指定したディレクトリへ移動します。

5. exports ファイルを変更します

サーバーC の exports ファイル例:

```
-----  
/usr/local/cybozu/files [サーバーA の IP](rw) [サーバーB の IP](rw)  
-----
```

補足

exports ファイルに手順 4 で移動したディレクトリのパスを記述します。

各サーバーで、NFS マウントに必要なサービスを再起動します。

6. 移動した添付ファイル保存ディレクトリをマウントします

サーバーA、サーバーB で実行する NFS マウントコマンド例:

```
-----  
mount -o intr [サーバーC の IP]:/usr/local/cybozu/files /usr/local/cybozu/files  
-----
```

7. 次の順に各サービスを起動します

- 7.1 マスターデータベースサーバー(サーバーB)データベースエンジンを開始します
- 7.2 スレーブデータベースサーバー(サーバーC)データベースエンジンを開始します
- 7.3 マスターデータベースサーバー(サーバーB)でスケジューリングサービスを開始します
- 7.4 アプリケーションサーバー(サーバーA)memcache を開始します
- 7.5 アプリケーションサーバー(サーバーA)で Web サーバーを開始します

8. ガルーンにアクセスし、すべてのアプリケーションでファイルのダウンロードが行えるか、動作確認をします

9. setting.ini ファイルの[common]セクションにある files_dir を変更します

例:

```
-----  
[common]  
files_dir = /usr/local/cybozu/files  
-----
```

補足

添付ファイル保存領域を /usr/local/cybozu 配下に指定します。

10. ガルーン 3.5.0 へバージョンアップします

ガルーン 3.5 バージョンアップ後に行う作業

1. repair.bat を実行した場合の作業(Windows 版のみ)

条件

下記の条件を全て満たす場合この項目に該当します。

- Windows 版のインストーラーを実行している
- バージョンアップ時に OS の再起動を求められ再起動後に repair.bat を使用してバージョンアップを行った

行う作業

スケジューリングサービスの実行ファイルパスの設定変更してください。

コマンドプロンプトを開き下記の[コマンド]を実行してください。

[コマンド]

>sc config Cybozu_Scheduling_Service_<インストール識別子> start= auto binPath= <スケジューリングサービスの実行ファイルのディレクトリパス>

※オプションの「=」の後ろには「半角スペース」が必要です

[コマンド例 : 「C:¥Inetpub¥scripts」以下へインストール/バージョンアップした場合]

>sc config Cybozu_Scheduling_Service_cbgrn start= auto binPath= C:¥Inetpub¥scripts¥cbgrn¥sched.exe

2. ガルーン 2.5.4 以前から 3.0.x を経由して 3.5.0 へバージョンアップした場合の作業 (delete_messages_maintainer.csp の実行)

条件

下記の条件をすべて満たす場合この項目に該当します。

- ガルーン 2.5.4 以前のバージョンを利用していた
- ガルーン 3.0.x を利用していた
 - ※ ガルーン 3.0.x からガルーン 3.0.3 ~ 3.1.3 にバージョンアップしているかつ、delete_messages_maintainer.csp を実行済みの場合は、こちらの作業を行う必要はありません

下記の不具合に該当します。

- ▼不具合情報公開サイト:ガルーン 3 にバージョンアップすると、宛先に含まれているユーザーが他のメッセージを送信していた場合、宛先を変更する権限が付与される。

<https://support.cybozu.com/ja/article/3986>

行う作業

コマンドの実行によりメッセージに関する不正な権限を削除する必要があります。

「付録. delete_messages_maintainer.csp の実行」を参照してコマンドを実行してください。

3. ガルーン 3.0.1 以前から直接ガルーン 3.5.0 へバージョンアップした場合の作業 (grn_mail_delete_old_preview_file.csp の実行)

条件

下記の条件を満たす場合この項目に該当します。

- ガルーン 3.0.1 以前から直接ガルーン 3.5.0 へバージョンアップを行った

下記の不具合に該当します。

- ▼不具合情報公開サイト: メールにファイルが添付されている場合、「メールの転送」画面を表示すると、ガルーンを運用しているサーバーに添付ファイルが蓄積される。

<https://support.cybozu.com/ja-jp/article/3956>

行う作業

コマンドの実行により不要な添付ファイルを削除する必要があります。

「付録.grn_mail_delete_old_preview_file.csp の実行」を読んでコマンドを実行してください。

4. Office からガルーン 3.1.x にコンバートし、ガルーン 3.5.0 へバージョンアップした場合の作業(recovery.csp の実行)

条件

下記の条件を満たす場合この項目に該当します。

- Cybozu Garoon 3 data converter for Cybozu Office version 1.0.0 を使用して、Office をガルーン 3.1.x にコンバートしてから、ガルーン 3.5.0 へバージョンアップした

下記の不具合に該当します。

- ▼不具合情報公開サイト:【ガルーン】Office からガルーンに移行後、3.5.0 にバージョンアップすると、予定の登録およびメッセージの送信ができない。

<https://support.cybozu.com/ja-jp/article/5686>

行う作業

下記の不具合情報公開サイトの添付ファイル(Garoon20120302Patch.zip)よりパッチの適用を行ってください。

※ ファイルをダウンロードし、解凍した後は「readme.txt」の免責事項を必ずご確認ください。

- ▼不具合情報公開サイト:【Cybozu Garoon 3 data converter for Cybozu Office】

Office からガルーンに移行後、3.5.0 にバージョンアップすると、予定の登録およびメッセージの送信ができない

<https://support.cybozu.com/ja-jp/article/5683>

※事前にログインが必要です

5. DB 分割版でガルーン 3.1.3 以前から 3.5.0 へバージョンアップした場合の作業

条件

下記の条件を満たす場合この項目に該当します。

- DB 分割版でガルーン 3.1.3 以前から 3.5.0 へバージョンアップした

下記の不具合に該当します。

- ▼不具合情報公開サイト:DB 分割構成で、バージョン 3.5.0 のガルーンにバージョンアップしても、my.ini の内容が変更されない。

<https://support.cybozu.com/ja-jp/article/9368>

行う作業

my.ini の内容を変更します。

※初期値でインストールした場合の my.ini のファイルパスは下記のとおりです
/usr/local/cybozu/mysql-5.0/etc/my.ini

```
[client] ディレクティブ
default-character-set = utf8mb4
[mysqld] ディレクティブ
skip-character-set-client-handshake
```

例:

変更前:

```
-----
[client]
port = 3770
socket = /usr/local/cybozu/mysql-5.0/data/mysql.sock
default-character-set = utf8 ← こちらの値が utf8mb4 以外の場合は該当します。
```

```
[mysqld]
user = apache
skip-name-resolve
(省略)
character-set-server = utf8mb4
collation-server = utf8mb4_general_ci
(skip-character-set-client-handshake の記載なし)
(省略)
-----
```

変更後:

[client]
port = 3770
socket = /usr/local/cybozu/mysql-5.0/data/mysql.sock
default-character-set = utf8mb4

[mysqld]
user = apache
skip-name-resolve
(省略)
character-set-server = utf8mb4
collation-server = utf8mb4_general_ci
skip-character-set-client-handshake
(省略)

6. 時刻の設定を行う

条件

バージョンアップ完了後は必ずこの作業を実行してください。

行う作業

下記の3つの時刻を運用方針に併せて、「システム管理」の画面より変更してください。

注意

スケジューリングサービスは停止した状態で設定を行ってください

設定完了後、スケジューリングサービスを起動してください

ユーザーデータの削除時間の設定

「システム管理」→「基本システムの管理」→「ユーザー」から設定を行ってください。

※ Office からの移行の場合

「ユーザーデータの削除時間の設定」の初期設定が「8時～12時」となるため、ユーザーのアクセスが少ない時間帯へ再設定してください。

ワークフローの「申請番号の年次切替」

「システム管理」→「各アプリケーションの管理」→「ワークフロー」→「一般設定」から設定を行ってください。

メールの自動受信

「システム管理」→「メール」→「一般設定」から設定を行ってください

※ ガルーン 3.1.3 以前のバージョンからのバージョンアップの場合は、ガルーン 3.5.0 の仕様変更の影響により、アクセスの少ない夜間に設定していた時間が、午前の時間に実行されます。

バージョンアップ後に、上記項目の時間の再設定を行ってください。

ガルーン 3.7 へバージョンアップする際の確認事項一覧

ガルーン 3.5.x からガルーン 3.7 へバージョンアップする際に、下記の確認事項に該当する場合は、後に記載する対応方法を行うようにしてください。

バージョンアップ前の確認事項

以下の事項については、バージョンアップ前に該当する項目がないか必ず確認を行ってください。

該当する項目がある場合は対応方法を行った後、バージョンアップを行ってください。

1. InnoDB ログファイルサイズ(`innodb_log_file_size`)を初期値の 10MB から変更している
2. バージョンアップ作業前にガルーンの設定ファイルを排他的にロックしているサービス・アプリケーションを停止していない
3. コマンドを使用してガルーンをバックアップモードにしている
4. バージョンアップ前に「`php.ini`」の `extension = gd.so` の部分を変更していない（※ DB 分割構成のみ）
5. ガルーン 3.5 バージョンアップチェックリスト内の『ガルーン 3.5 バージョンアップ後に行う作業』を確認していない（※ ガルーン 3.1.3 以前からバージョンアップしている場合のみ）

バージョンアップ中の確認事項

以下の事項は、バージョンアップを行っている途中で出力されるエラーについて、その内容と対応方法を記載しています。

バージョンアップを行う前に以下の内容の確認を必ず行い、エラーが発生した場合は記載してある対応方法を実行してください。

1. MySQL のバージョンアップ中に「`! failed running mysql_upgrade command.`」とコンソールに出力される（※ DB 分割構成のみ）

ガルーン 3.7 バージョンアップ前の確認事項

1. InnoDB ログファイルのサイズ(`innodb_log_file_size`)を初期値の 10MB から変更している

確認内容

1. MySQL の設定ファイル(my.ini)を開き、`innodb_log_file_size` が 10M と設定されているかどうかを確認する
MySQL の設定ファイル(my.ini)の保存場所例:

-Windows 環境: C:\ProgramFiles\Cybozu\mysql-5.0\etc\my.ini
-Linux 環境: /usr/local/cybozu/mysql-5.0/etc/my.ini

設定例(my.ini):

```
-----  
# You can set .._buffer_pool_size up to 50 - 80 %  
# of RAM but beware of setting memory usage too high  
innodb_buffer_pool_size          = 4500M  
innodb_additional_mem_pool_size = 8M  
# Set .._log_file_size to 25 % of buffer pool size  
innodb_log_file_size              = 10M    ← こちらの値が 10M 以外の場合は該当します。  
innodb_log_files_in_group        = 3  
innodb_log_buffer_size           = 8M  
-----
```

2. InnoDB ログファイルのファイルサイズが 10MB 以上かどうかを確認する

InnoDB ログファイルは、[MySQL のインストールディレクトリ]/data フォルダ配下にある `ib_logfile[数字]` ファイル(複数)になります。

InnoDB ログファイルの保存場所例:

-Windows 環境: C:\ProgramFiles\Cybozu\mysql-5.0\data\ib_logfile[数字]
-Linux 環境: /usr/local/cybozu/mysql-5.0/data/ib_logfile[数字]

InnoDB ログファイルのファイルサイズ例:

-Windows 環境

```
-----  
ib_logfile0    10,240KB    ← ib_logfile[数字]ファイルが 10,240KB(10MB)以外の場合は該当します。  
ib_logfile1    10,240KB  
ib_logfile2    10,240KB  
-----
```

-Linux 環境

```
-----  
ib_logfile0    10,485,760 バイト ← ib_logfile[数字]ファイルが 10,485,760 バイト(10MB)以外の場合  
                                     場合は該当します。  
ib_logfile1    10,485,760 バイト  
ib_logfile2    10,485,760 バイト  
-----
```

該当する場合の対応方法

InnoDB ログファイルのサイズ (innodb_log_file_size) を初期値の 10MB から変更している場合は、次の方法で 10MB に戻してからバージョンアップを行なってください。

1. Web サーバーを停止する
2. スケジューリングサービスを停止する
3. データベースエンジンを停止する
4. /data フォルダ、/files フォルダをバックアップする
5. MySQL の設定ファイル (my.ini) を開き、innodb_log_file_size を 10M に戻す
変更前:

```
-----  
# You can set .._buffer_pool_size up to 50 - 80 %  
# of RAM but beware of setting memory usage too high  
innodb_buffer_pool_size          = 4500M  
innodb_additional_mem_pool_size = 8M  
# Set .._log_file_size to 25 % of buffer pool size  
innodb log file size              = 500M  
innodb_log_files_in_group        = 3  
innodb_log_buffer_size           = 8M  
-----
```

変更後:

```
-----  
# You can set .._buffer_pool_size up to 50 - 80 %  
# of RAM but beware of setting memory usage too high  
innodb_buffer_pool_size          = 4500M  
innodb_additional_mem_pool_size = 8M  
# Set .._log_file_size to 25 % of buffer pool size  
innodb log file size              = 10M  
innodb_log_files_in_group        = 3  
innodb_log_buffer_size           = 8M  
-----
```

6. InnoDB ログファイル(ib_logfile[数字]ファイル)を削除する

- ※ ib_logfile[数字]ファイルは、複数存在します。すべての ib_logfile[数字]ファイルを削除してください。
- ※ その他のファイルを間違えて削除しないように注意してください。

InnoDB ログファイルの保存場所例:

- Windows 環境 : C:\ProgramFiles\Cybozu\mysql-5.0\data\ib_logfile[数字]
- Linux 環境 : /usr/local/cybozu/mysql-5.0/data/ib_logfile[数字]

7. データベースエンジンを起動する

8. スケジューリングサービスを起動する

9. Web サーバーを起動する

10. InnoDB ログファイルサイズが 10MB かどうか確認する

InnoDB ログファイルサイズが 10MB の場合:

-Windows 環境

```
-----  
ib_logfile0    10,240KB  
ib_logfile1    10,240KB  
ib_logfile2    10,240KB  
-----
```

-Linux 環境

```
-----  
ib_logfile0    10,485,760 バイト  
ib_logfile1    10,485,760 バイト  
ib_logfile2    10,485,760 バイト  
-----
```

2. バージョンアップ作業前にガルーンの設定ファイルを排他的にロックしているサービス・アプリケーションを停止していない

確認内容

バージョンアップを行う前に不要なサービスやアプリケーションはすべて停止してください。
停止をしていない場合、ガルーンの設定ファイル(拡張子が.ini のファイル)が排他的にロックされてバージョンアップに失敗する場合があります。

下記のケースが報告されています。

ガルーンに関連するサービス

- スケジューリングサービス起動中のバージョンアップ

ガルーン以外のサービス・アプリケーションの例

- Web サービス(IIS など)起動中のバージョンアップ
- ウィルスソフト関連サービス起動中のバージョンアップ
- エクスプローラー起動中のバージョンアップ
- ini ファイルをメモ帳などで開いている際のバージョンアップ
- Windows Management Instrumentation サービス起動中のバージョンアップ

該当する場合の対応方法

バージョンアップの前に不要なサービスやアプリケーションはすべて停止してください。

補足

スケジューリングサービスの停止は次の方法で行ってください。

-Windows 環境

Windows のスタートメニューから、[コントロールパネル]→[管理ツール]→[サービス]を選択し、
「Cybozu_Scheduling_Service_(インストール識別子)」を停止します。

-Linux 環境

/etc/init.d/cyss_(インストール識別子) stop

3. コマンドを使用してガルーンをバックアップモードにしている

確認内容

ガルーン 3.5 の時点で下記のコマンドを用いてバックアップモードに設定している状態で、ガルーン 3.7 へバージョンアップを行うとバージョンアップに失敗します。

バックアップモードに設定するコマンド

```
-Windows 環境
cd C:¥Inetpub¥scripts¥cbgrn
grn_command.exe -f .¥code¥command¥backupmode_start.csp
```

```
-Linux 環境
cd /var/www/cgi-bin/cbgrn
./grn_command -f ./code/command/backupmode_start.csp
```

補足

- ・バックアップモードの詳細については『サイボウズガルーン バージョン 3.5 管理者マニュアル 5.1.3 mysqldump を使用してバックアップする』を参照してください
- ・common.ini に「disabled = 1」の記載がない状態（バックアップモードの許可を設定した状態）でのガルーン 3.7 へのバージョンアップは可能です。
ただし、ガルーン 3.5 へのバージョンアップ時には、バックアップモードの許可を無効にするする必要があります（ガルーン 3.5 バージョンアップチェックリスト『ガルーン 3.5 へバージョンアップする際の確認事項 項目 3』参照）

該当する場合の対応方法

バージョンアップを行う前にコマンドを用いてバックアップモードを解除してください。

バックアップモードを解除するコマンド

```
-Windows 環境
cd C:¥Inetpub¥scripts¥cbgrn
grn_command.exe -f .¥code¥command¥backupmode_end.csp
```

```
-Linux 環境
cd /var/www/cgi-bin/cbgrn
./grn_command -f ./code/command/backupmode_end.csp
```

4. バージョンアップ前に「php.ini」の extension = gd.so の部分を変更していない(DB 分割構成のみ)

条件

DB 分割構成のみで確認する必要がある項目です。

確認内容

DB 分割構成ではガルーンを構成するすべてのサーバーで「php.ini」を変更する必要があります。

該当する場合の対応方法

『ガルーン サイボウズガルーン バージョン 3.7 DB 分割構成マニュアル 3.2 バージョンアップする』を参照してください。

※ 上記のマニュアルの第 5.2 版よりこの変更に関する記載が追記されました。

5. ガルーン 3.5 バージョンアップチェックリスト内の『ガルーン 3.5 バージョンアップ後に行う作業』を確認していない

条件

ガルーン 3.1.3 以前からガルーン 3.5 を経由してガルーン 3.7 へバージョンアップする場合に確認する項目です。

※ 特にガルーン 3.5 で運用を行わない場合確認してください。

確認内容

ガルーン 3.5 バージョンアップチェックリスト内には『ガルーン 3.5 バージョンアップ後に行う作業』があります。

その中にはガルーン 3.7 へバージョンアップする前に実施すべき項目があります。

確認項目の詳細については『ガルーン 3.5 バージョンアップ後に行う作業』を参照してください。

該当する場合の対応方法

確認する項目と対応方法については『ガルーン 3.5 バージョンアップ後に行う作業』を参照してください。

補足

- ガルーン 3.5 バージョンアップチェックリスト内の『ガルーン 3.5 バージョンアップ後に行う作業』には次の項目があります(2013年9月時点)
 - 項目 2:「宛先に含まれているユーザーが他のメッセージを送信していた場合、宛先を変更する権限が付与される。」不具合への対応
該当する不具合情報: <https://support.cybozu.com/ja/article/3986>
 - 項目 3:「メールにファイルが添付されている場合、「メールの転送」画面を表示すると、ガルーンを運用しているサーバーに添付ファイルが蓄積される」不具合への対応
該当する不具合情報: <https://support.cybozu.com/ja/article/3956>
 - 項目 4:「Office からガルーンに移行後、3.5.0 にバージョンアップすると、予定の登録およびメッセージの送信ができない。」不具合への対応
該当する不具合情報: <https://support.cybozu.com/ja-jp/article/5683>
※ 閲覧には不具合情報公開サイトへのログインが必要です

ガルーン 3.7 バージョンアップ中の確認事項

1. MySQL のバージョンアップ中に「! failed running mysql_upgrade command.」とコンソールに出力される (DB 分割構成のみ)

現象

データベースサーバーの MySQL をバージョンアップする際に、データ量などの影響でデータベースエンジンの停止に時間がかかると、MySQL のアップグレードの処理が実行されない場合があります。

この現象が起こった場合コンソールに「! failed running mysql_upgrade command.」と出力されます。

現象の確認方法

バージョンアップ実行中のコンソールに下記のようなログが出力されます。

(※の出力が該当するログになります)

```
-----  
[Garoon 3.7.0][Fri, 06 Sep 2013 18:46:25 +0600] Starting MySQL Server  
[Garoon 3.7.0][Fri, 06 Sep 2013 18:46:25 +0600] mysql(10456) is running...  
  
[Garoon 3.7.0][Fri, 06 Sep 2013 18:46:25 +0600] start upgrading mysqlldb  
./mysqlcheck: Got error: 2003: Can't connect to MySQL server on '10.1.1.10' (111) when trying to connect  
FATAL ERROR: Upgrade failed  
[Garoon 3.7.0][Fri, 06 Sep 2013 18:46:25 +0600] Looking for 'mysql' as: ./mysql  
Looking for 'mysqlcheck' as: ./mysqlcheck  
Running 'mysqlcheck' with connection arguments: '--port=3770' '--host=10.1.1.10'  
  
[Garoon 3.7.0][Fri, 06 Sep 2013 18:46:25 +0600] ! Execute failed './mysql_upgrade -f -u cbroot -P 3770 -  
h 10.9.68.125 -pcbroot'. returned 1.   ...※  
[Garoon 3.7.0][Fri, 06 Sep 2013 18:46:25 +0600] ! failed running mysql_upgrade command.   ...※  
[Garoon 3.7.0][Fri, 06 Sep 2013 18:46:25 +0600] end upgrading mysqlldb  
[Garoon 3.7.0][Fri, 06 Sep 2013 18:46:25 +0600]  
[Garoon 3.7.0][Fri, 06 Sep 2013 18:46:25 +0600] MySQL versionup success.  
[Garoon 3.7.0][Fri, 06 Sep 2013 18:46:25 +0600]  
[Garoon 3.7.0][Fri, 06 Sep 2013 18:46:25 +0600] Versionup success.  
-----
```

補足

コンソールに出力される内容はログファイルでも確認することができます。

対応方法

下記の手順にて対応を行ってください。

1. すべての Web サーバーを停止していることを確認する
2. スケジューリングサービスを停止していることを確認する
3. 該当のログが出力されている DB サーバーの installer ディレクトリで下記のコマンドを実行する
installer/mysql/resource/x64/bin/mysql_upgrade -f -u [DB 管理ユーザー] -P [ポート番号] -h 127.0.0.1 -p
例) /work/ installer/mysql/resource/x64/bin/mysql_upgrade -f -u cbroot -P 3770 -h 127.0.0.1 -p
※ コマンドは 1 行で実行してください
4. データベース管理ユーザーのパスワードを入力する
※ パスワードは「-u」で指定した DB 管理ユーザーのパスワードを入力してください
※ MySQL のアップグレードが実行されます
5. MySQL のアップグレードが完了したら残りのバージョンアップ手順を実行する
6. マニュアルの手順「10 スレーブデータベースサーバーで、MySQL にログインします。」からバージョンアップ作業を再開する

付録

MySQL クエリの実行方法

バージョンアップ前の確認事項に該当するかどうか確認する際に MySQL クエリを実行する場合は、以下の内容を確認してクエリの実行を行ってください。

クエリの実行手順

1. MySQL のデータ(MySQL のインストールディレクトリ/data)と添付ファイル領域(MySQL のインストールディレクトリ/files)のバックアップを取得します
2. すべての Web サーバーを停止します
3. スケジューリングサービスを停止します
4. 以下のコマンドを実行します

[実行するクエリ]にそれぞれの確認項目の記載にされているクエリを入力してコマンドを実行してください

- Windows(コマンドプロンプトを起動してください)

```
" インストールディレクトリ¥mysql-5.0¥bin¥mysql.exe" -u cbroot -p -h [ガルーンサーバーの IP アドレス] -P [データベースのポート番号] -A cb_[インストール識別子] --execute="[実行するクエリ]"
```

- Linux

```
インストールディレクトリ/mysql-5.0/bin/mysql -u cbroot -p -h [ガルーンサーバーの IP アドレス] -P [データベースのポート番号] -A cb_[インストール識別子] --execute="[実行するクエリ]"
```

注意

- --execute="**[実行するクエリ]**"の部分では二重引用符(")で実行するクエリを囲むようにしてください
- ガルーン 2.1.3 以前の場合は MySQL のインストールディレクトリが mysql-4.1 となります

5. データベース管理ユーザー(cbroot)のパスワードを入力します
6. 実行結果を確認します

注意

実行結果を確認する際は、それぞれの確認項目の記載にしたがってください。

7. スケジューリングサービスを起動します
8. すべての Web サーバーを起動します

delete_messages_maintainer.csp の実行

delete_messages_maintainer.csp は、メッセージを変更および削除する権限を削除するためのスクリプトファイルです。delete_messages_maintainer.csp を実行すると、次の不具合によってメッセージの宛先に設定されたユーザーに付与された権限を削除できます。

- ▼不具合情報公開サイト:ガルーン 3 にバージョンアップすると、宛先に含まれているユーザーが他のメッセージを送信していた場合、宛先を変更する権限が付与される。

<https://support.cybozu.com/ja-jp/article/3986>

この不具合は、メッセージの宛先に、バージョン 2.5.4 以前のガルーンで社内メールを送信したことがあるユーザーが含まれている場合に発生します。

delete_messages_maintainer.csp の実行方法と、実行時に出力されるログについて説明します。標準のインストール先ディレクトリに、ガルーン 3 をインストールした場合を例として説明しています。インストール識別子とディレクトリは、環境に合わせて読み替えてください。

注意

- ガルーンをバージョン 3.0.0 にバージョンアップしてから、メッセージに権限を設定している場合は、バージョンアップ日を引数(before=YYYY-MM-DD)に指定してスクリプトファイルを実行することを推奨します。
- バージョンアップした日付より後の日付を指定すると、メッセージを変更および削除する権限のすべてが削除される場合があります。
- バージョン 3.0.3 以降のガルーンで権限削除プログラムを実行している場合は、バージョン 3.5.5 のガルーンで delete_messages_maintainer.csp を実行する必要はありません。

実行方法

次のコマンドを実行します。

※サーバー分離構成の場合、いずれかのアプリケーションサーバーで下記のコマンドを実行します。

※コマンドとともに使用できる引数については、後述の「引数」を参照してください。

```
- Windows
cd C:\inetpub\scripts\cbgrn
.%grn_command.exe -f code\command\delete_messages_maintainer.csp (引数)
```

```
- Linux
cd /var/www/cgi-bin/cbgrn
./grn_command -f code/command/delete_messages_maintainer.csp (引数)
```

引数

- exec:
権限を削除します。exec を省略すると、権限を削除されるメッセージの数が表示されます。
- before=YYYY-MM-DD:
指定した日付(YYYY-MM-DD)より前に付与された権限を削除します。

ログの見かた

delete_messages_maintainer.csp を実行すると、ログが出力されます。
ログの出力先は、次のとおりです。

- Windows
C:\inetpub\Scripts\cbgrn\delete_messages_maintainer.log
- Linux
/var/www/cgi-bin/cbgrn/delete_messages_maintainer.log

Windows 環境でコマンドを実行した場合に出力されるログを例に、ログの見かたを説明します。

引数に before=YYYY-MM-DD だけを使用する場合

・コマンド:
grn_command.exe -f code¥command¥delete_messages_maintainer.csp before=YYYY-MM-DD

・ログ:
2013-03-16 17:36:01 Writing to log file: C:\inetpub¥scripts¥cbgrn ¥delete_messages_maintainer.log
2013-03-16 17:36:01 Garoon: Version 3.0.3
2013-03-16 17:36:01 Operating System: Windows NT WIN-M4VN83DUUIV 6.1build 7600 ((null)) i586
2013-03-16 17:36:01 Command Line Parameters: before='2010-03-01'
2013-03-16 17:36:01 Starting
2013-03-16 17:36:01 Done in 0 seconds: Hit 3 records.

上記のログに、次の実行結果が出力されています。

- ・ Done in 0 seconds: Hit 3 records.
権限が削除される予定のメッセージの件数が出力されます。

すべての引数を使用する場合

・コマンド:
grn_command.exe -f code¥command¥delete_messages_maintainer.csp exec before=YYYY-MM-DD

・ログ:
2013-03-16 17:38:16 Writing to log file: C:\inetpub¥scripts¥cbgrn ¥delete_messages_maintainer.log
2013-03-16 17:38:16 Garoon: Version 3.0.3
2013-03-16 17:38:16 Operating System: Windows NT WIN-M4VN83DUUIV 6.1 build 7600 ((null)) i586
2013-03-16 17:38:16 Command Line Parameters: before='2010-03-01' exec
2013-03-16 17:38:16 Starting
2013-03-16 17:38:16 Deleted maintainer of mid=5.
2013-03-16 17:38:16 Deleted maintainer of mid=6.
2013-03-16 17:38:16 Deleted maintainer of mid=7.
2013-03-16 17:38:16 Done in 0 seconds: Deleted maintainer 3 records.

上記のログに、次の実行結果が出力されています。

- ・Deleted maintainer of mid=5:
メッセージ(mid5)に、付与された権限が削除されたことを表します。
- ・Done in 0 seconds: Deleted maintainer 3 records.
権限が削除されたメッセージの数が表示されています。

grn_mail_delete_old_preview_file.csp の実行

grn_mail_delete_old_preview_file.csp は、ガルーンを運用しているサーバーに蓄積された不要なデータを削除するための、スクリプトファイルです。grn_mail_delete_old_preview_file.csp を実行すると、次の不具合によってサーバーに蓄積された、メールの添付ファイルを削除できます。

- ▼不具合情報公開サイト:メールにファイルが添付されている場合、「メールの転送」画面を表示すると、ガルーンを運用しているサーバーに添付ファイルが蓄積される

<https://support.cybozu.com/ja-jp/article/3956>

grn_mail_delete_old_preview_file.csp の実行方法と、実行時に出力されるログについて説明します。標準のインストール先ディレクトリに、ガルーンをインストールした場合を例として説明しています。インストール識別子とディレクトリは、環境に合わせて読み替えてください。

注意

- バージョン 3.0.1 以前のガルーンを使用していた場合のみ、grn_mail_delete_old_preview_file.csp を実行してください。

実行方法

次のコマンドを実行します。

- Windows

```
cd C:¥InetPub¥Scripts¥cbgrn
```

```
¥grn_command.exe -f code¥command¥grn_mail_delete_old_preview_file.csp (引数)
```

- Linux

```
cd /var/www/cgi-bin/cbgrn
```

```
./grn_command -f code/command/grn_mail_delete_old_preview_file.csp (引数)
```

※サーバー分離構成の場合、いずれかのアプリケーションサーバーで上記のコマンドを実行します

※コマンドとともに使用できる引数については、後述の「引数」を参照してください

引数

•exec:

データやファイルを削除します。exec を省略すると、削除する予定のファイルの数が表示されます。

•before=YYYY-MM-DD:

指定した日付(YYYY-MM-DD)より前に作成されたデータやファイルを削除します。

before=YYYY-MM-DD を省略すると、コマンドを実行した日時より前に作成されたデータやファイルを削除します。

•max_count=##:

指定した数のファイルを削除します。##に、ファイルの数を指定します。この引数を使用する場合は、exec を使用する必要があります。

•max_duration=##:

開始から指定した時間が経過すると、削除処理を終了します。##に、処理時間を分で指定します。

この引数を使用する場合は、exec を使用する必要があります。

ログの見かた

grn_mail_delete_old_preview_file.csp を実行すると、ログが出力されます。ログの出力先は、次のとおりです。

- Windows

C:¥InetPub¥Scripts¥cbgrn¥grn_mail_delete_old_preview_file.log

- Linux

/var/www/cgi-bin/cbgrn/grn_mail_delete_old_preview_file.log

Linux 環境でコマンドを実行した場合に出力されるログを例に、ログの見かたを説明します。

引数に exec を使用した場合

・コマンド:

```
[root@garoon admin]# ./grn_command -f code/command/grn_mail_delete_old_preview_file.csp exec
```

・ログ:

```
2013-11-21 10:23:24 Writing to log file: /var/www/cgi-bin/cbgrn/grn_mail_delete_old_preview_file.log
```

```
2013-11-21 10:23:24 Garoon: Version 3.0.2
```

```
2013-11-21 10:23:24 Operating System: Linux garoon 2.6.18-194.3.1.el5 #1 SMP Thu May 13 13:09:10 EDT 2013 i686
```

```
2013-11-21 10:23:24 Command Line Parameters: exec
```

```
2013-11-21 10:23:24 Starting
```

```
2013-11-21 10:23:24 1 files are going to be deleted.
```

```
2013-11-21 10:23:24 deleting record: table_id:1, record_id:2
```

```
2013-11-21 10:23:24 deleting file: /usr/local/cybozu/mysql-5.0/files/cbgrn/mail/grn_mail_filebody___p1/0/0/2
```

```
2013-11-21 10:23:24 1 files were deleted.
```

```
2013-11-21 10:23:24 Done in 0 seconds
```

上記のログに、次の実行結果が出力されています。

・deleting record: table_id:1, record_id:2:

テーブル(table_id=1)のレコード(record_id=2)が削除されたことを表します。

・deleting file: /usr/local/cybozu/mysql-5.0/files/cbgrn/mail/grn_mail_filebody___p1/0/0/2:

添付ファイル(grn_mail_filebody___p1/0/0/2)が削除されたことを表します。

・1 files were deleted.

削除されたファイルの数が表示されています。

引数に max_count を使用した場合

・コマンド:

```
[root@garoon admin]# ./grn_command -f code/command/grn_mail_deleteold_preview_file.csp exec max_count=1
```

・ログ:

```
2013-11-21 10:30:42 Writing to log file: /var/www/cgi-bin/cbgrn/grn_mail_delete_old_preview_file.log
```

```
2013-11-21 10:30:42 Garoon: Version 3.0.2
```

```
2013-11-21 10:30:42 Operating System: Linux garoon 2.6.18-194.3.1.el5 #1 SMP Thu May 13 13:09:10 EDT 2013 i686
```

```
2013-11-21 10:30:42 Command Line Parameters: exec max_count='1'
```

```
2013-11-21 10:30:42 Starting
```

```
2013-11-21 10:30:42 2 files are going to be deleted.
```

2013-11-21 10:30:42 deleting record: table_id:1, record_id:3
2013-11-21 10:30:42 deleting file: /usr/local/cybozu/mysql-5.0/files/cbgrn/mail/grn_mail_filebody___p1/0/0/3
2013-11-21 10:30:42 Stopped processing by reaching the max_count
2013-11-21 10:30:42 1 files were deleted.
2013-11-21 10:30:42 Done in 0 seconds.

上記のログに、次の実行結果が出力されています。

- ・Stopped processing by reaching the max_count:
削除されるファイルの数が max_count に達し、プログラムが処理を停止したことを表します。

引数に max_duration を使用した場合

・コマンド:

```
[root@garoon admin]# ./grn_command -f code/command/grn_mail_delete_old_preview_file.csp exec max_duration=1
```

・ログ:

```
2013-11-21 10:33:40 Writing to log file: /var/www/cgi-bin/cbgrn/grn_mail_delete_old_preview_file.log  
2013-11-21 10:33:40 Garoon: Version 3.0.2  
2013-11-21 10:33:40 Operating System: Linux garoon 2.6.18-194.3.1.el5 #1 SMP Thu May 13 13:09:10 EDT 2013 i686  
2013-11-21 10:33:40 Command Line Parameters: exec max_duration='1'  
2013-11-21 10:33:40 Starting  
2013-11-21 10:33:40 5 files are going to be deleted.  
2013-11-21 10:34:00 deleting record: table_id:1, record_id:4  
2013-11-21 10:34:00 deleting file: /usr/local/cybozu/mysql-5.0/files/cbgrn/mail/grn_mail_filebody___p1/0/0/4  
2013-11-21 10:34:20 deleting record: table_id:1, record_id:5  
2013-11-21 10:34:20 deleting file: /usr/local/cybozu/mysql-5.0/files/cbgrn/mail/grn_mail_filebody___p1/0/0/5  
2013-11-21 10:34:40 deleting record: table_id:1, record_id:6  
2013-11-21 10:34:40 deleting file: /usr/local/cybozu/mysql-5.0/files/cbgrn/mail/grn_mail_filebody___p1/0/0/6  
2013-11-21 10:35:00 deleting record: table_id:1, record_id:7  
2013-11-21 10:35:00 deleting file: /usr/local/cybozu/mysql-5.0/files/cbgrn/mail/grn_mail_filebody___p1/0/0/7  
2013-11-21 10:35:00 Stopped processing by passing the max_duration.  
2013-11-21 10:35:00 4 files were deleted.  
2013-11-21 10:35:00 Done in 1 minute 20 seconds.
```

上記のログに、次の実行結果が出力されています。

- ・Stopped processing by passing the max_duration.:
max_duration で指定した時間が経過し、プログラムが処理を停止したことを表します。

ファイルの削除に失敗した場合

・コマンド:

```
[root@garoon admin]# ./grn_command -f code/command/grn_mail_delete_old_preview_file.csp exec
```

・ログ:

```
2013-11-21 10:44:11 Writing to log file: /var/www/cgi-bin/cbgrn/grn_mail_delete_old_preview_file.log
2013-11-21 10:44:11 Garoon: Version 3.0.2
2013-11-21 10:44:11 Operating System: Linux garoon 2.6.18-194.3.1.el5 #1 SMP Thu May 13 13:09:10 EDT 2013 i686
2013-11-21 10:44:11 Command Line Parameters: exec
2013-11-21 10:44:11 Starting
2013-11-21 10:44:11 2 files are going to be deleted.
2013-11-21 10:44:11 deleting record: table_id:1, record_id:9
2013-11-21 10:44:11 deleting file: /usr/local/cybozu/mysql-5.0/files/cbgrn/mail/grn_mail_filebody___p1/0/0/9
2013-11-21 10:44:11 deleting record: table_id:1, record_id:10
2013-11-21 10:44:11 deleting file: /usr/local/cybozu/mysql-5.0/files/cbgrn/mail/grn_mail_filebody___p1/0/0/10
2013-11-21 10:44:11 failed to delete /usr/local/cybozu/mysql-5.0/files/cbgrn/mail/grn_mail_filebody___p1/0/0/10
2013-11-21 10:44:11 1 files were deleted.
2013-11-21 10:44:11 Done in 0 seconds.
```

上記のログに、次の実行結果が出力されています。

```
・failed to delete /usr/local/cybozu/mysql-5.0/files/cbgrn/mail/grn_mail_filebody___p1/0/0/10:
  添付ファイル(grn_mail_filebody___p1/0/0/10)の削除に失敗したことを表します。
```

補足

- プログラムが処理を開始してから、ファイルの削除に失敗するまでに削除されたファイルやデータは、元に戻りません
- プログラムがファイルの削除に失敗する主な原因は、次のとおりです
 - ファイルが存在しない
 - プログラムを実行したユーザーに、ファイルを削除する権限がない

お問い合わせ先

<http://products.cybozu.co.jp/garoon/support/>

発行日

2016年3月 第1版発行

発行者

サイボウズ株式会社

〒103-6028 東京都中央区日本橋 2-7-1 東京日本橋タワー 27階

Copyright (C) 2016 Cybozu